

会 議 録

会 議 名	2025 年度第 3 回東浦町学校給食センター運営委員会	
開 催 日 時	2026 年 3 月 24 日 (火) 午後 1 時 30 分から午後 2 時 00 分まで	
開 催 場 所	東浦町学校給食センター 2 階会議室	
出 席 者	委員等	長坂浩美氏(委員長)、鈴木浩美氏(副委員長)、日高啓量氏、石川舞依氏、佐口愛氏、阿部雄二氏、升澤千鶴氏、戸田昌治氏、山崎千聡氏、青木俊氏、市野司氏 ※出席委員 11 名、欠席 4 名
	事務局	庄子教育長、神谷こども未来部長、長坂こども未来部次長、青木教育課長兼学校給食センター所長、岩本教育課主幹兼指導主事、桑山教育課統括補佐兼指導主事、大塚教育課課長補佐兼給食係長、小田栄養教諭、中山栄養教諭
議 題 等 (公開又は 非公開の別)	1 令和 8 年度の給食提供について (公開) ・ 2 学期終業式 (12/23) の給食提供 ・ 2 学期始業式 (9/1) の防災食体験 2 その他 (公開)	
非公開の理由 (会議を非公開と した理由)	/	
傍聴者の数	なし	
審議内容	<p>◆事務局 委員長のあいさつ。 教育長のあいさつ。</p> <p>◆議事 ◇委員長 委員の出席及び会議の成立を確認。 次第に従い議事を進める。議題 1 「令和 8 年度の給食提供について」のうち、「2 学期終業式 (12/23) の給食提供」を議題とし、事務局から説明を求める。</p> <p>◆事務局 資料に基づき説明。</p>	

2026（令和8）年度 給食開始・終了日（案）のとおり、全189回の給食提供を予定している。

2025（令和7）年度に実施した2学期終業式の給食提供後に実施した、児童生徒アンケート結果と保護者アンケートの内容を説明した。

アンケート結果を踏まえ、教育委員会としては来年度も実施をしたいと考えている。

※質疑・意見等は次のとおり。

◇委員：アンケートをなぜ教職員にしなかったのか。

◆事務局：今回の実施にあたっては、基本的に「教員ノータッチ」を進めたため、教職員へのアンケートは実施しなかった。
教育的意義をもたせるため、教育委員会から児童会・生徒会に働きかけて、「2学期終業式にみんなで給食を食べるにはどうしたらよいか」というテーマで取り組んだ。

◇委員：「教員ノータッチ」は本当に実現できたのか。

◆事務局：各学校や地域の実態にあわせて、PTAから学校へ声をかけて教職員にも協力をしてもらい実施したと聞いている。

◇委員：給食主任会議で挙げた各学校の意見として「現場は苦しい」の他に「子どもたちは喜んでいて、教員ノータッチはできなかった」という声があった。また、「終業式後の書類整理の時間確保や不登校対応のための家庭訪問に時間が取れなかった」という意見もあった。

昨年の会議録でも、「なぜ12/23に給食提供をしなくてはいけないのか」や「教員ノータッチは本当にできるのか」などの異論が出ていたが、払拭できていないのではないかと思う。

教職員ではなく、PTAが給食の見守りを実施した際に、万が一事故が起きた場合は、保護者が保護者を訴えるといった可能性も考えられなくない。

教職員は日ごろから研修を受け、万が一に備えた準備ができているが、その点でも心配である。

◇委員：保護者アンケートでは実施に賛成が多かった。教員に負担をかけない仕組みとして教員ノータッチが取り入れられたが、当日の運営主体が「教員」ではなく「保護者」であったということが保護者の間で、もっと浸透していたら、アンケート結果が変わっていたかもしれない。

◇委員：給食の実施回数が増えることは、保護者としてはとてもうれしい。西部中学校では、生徒数が少ないこともあり、ほぼ教員ノータッ

チが実現できた。先生方の協力で、PTA と生徒会で打ち合わせを行い、地域のボランティアを募集することもできた。
しかしながら、地域性や学校の希望もあるため、PTA の関わり方も各校違ってくると思われる。
見守りをした方の中からは、先生方の負担も考慮して、教職員にも意見を聞いた方が良いという声もあった。また、PTA の仕事とすることは、PTA のなり手不足につながる懸念がある。
来年度以降、同じやり方ではなく、課題整理は必要だと思う。

◇委員：今回の終業式給食に参加してみて、特に小学校は教員なしでの実施は難しいと感じた。
忙しいのはみな同じである。ぜひ、「子どもたち中心」で事業実施を考えたほうが良いと感じた。「やれるときに、やれる人が、やることを」を大切にしたい。

質疑応答が終了。

議題1「令和8年度の給食提供について」のうち「2学期終業式(12/23)の給食提供」について、今後、教育委員会と学校(教職員)と調整の上で、次年度についても実施していくということで、原案どおり賛成多数で決定。

◇委員長

次に、議題1「令和8年度の給食提供について」のうち、「2学期始業式(9/1)の防災食体験」を議題とし、事務局から説明を求める。

◆事務局

9月1日は1923年に関東大震災が発生した日であり、この日に「防災食体験」を実施することで、日ごろの食事や給食のありがたみを子どもたち自身が実感し、災害に備える重要性を再認識する機会にしたい。

また、地域の実態に合わせて、防災ボランティアの協力を得るなど、災害時の知識や行動方法についても学ぶ機会にしたいと考えている。

今回は、取組方針について審議いただくものであり、実施に関しては、来年度のPTAの皆様アンケートを行って進めていく予定である。

◇委員：どういったものを「防災食」として提供するのか。

◆事務局：備蓄用のアルファ化米の提供を予定している。

◇委員：ローリングストックのものを活用するのか。

また、その日は給食費を徴収するのか。

◆事務局：ローリングストックしているものから提供する予定であり、給食費の徴収はしない。

質疑、応答が終了。

議題1「令和8年度の給食提供について」のうち、「2学期始業式(9/1)の防災食体験」の方針については、原案どおり賛成多数で決定。

◇委員長

議題2「その他」について委員に意見を求める。

◇委員：宗教上の理由で給食を食べることができない方へ、ハラール食等を提供する考えはあるか。

◆事務局：まだ食物アレルギー対応について検討中の状況です。ハラール食等の提供については、今後の課題であるということは認識しているが、今のところ提供する予定はない。

◇委員：福島県で3月11日に卒業お祝いのために赤飯を準備したが、ふさわしくないという電話をうけ、提供を断念し処分したというニュースがあった。東浦町では、そういった案件はあったか。

◆事務局：東浦町でも卒業スペシャルランチを提供しているが、提供日が震災の日に重なるようなことはなかった。

議事の終了を宣言する。会議が閉会

■閉会を宣言